

全国統一小学生テスト 対策授業

国 5
年 生
語 生

① 説明文の読み方

◆ 接続語の用法

接続語は、「言葉と言葉」「文と文」「段落と段落」などのつながり方を示す大切な言葉です。その働きによって次のように分類されます。

- ① **順接**：前のことから原因・理由となり、その当然の結果・結論が後にくる
だから・したがって・それで・そこで・すると・ゆえに など
- ② **逆接**：前のことから逆になるようなことがらや、くいちがうことが後にくる
しかし・だが・けれど・ところが・でも・が・しかるに など
- ③ **並立（並列）**：前のことから後のことがらに対等な関係でならべられている
また・ならびに・および など
- ④ **添加（累加）**：まえのことから後のことをつけ加える
そして・さらに・そのうえ・それから・しかも・それに など
- ⑤ **説明**：例を示したり、理由を述べたり、言い換えたりしてくわしく説明する。
・**例示**：具体例を示す
たとえば・いわば など
・**理由**：理由を述べる
なぜなら・というのは など
・**換言**：言い換える
つまり・すなわち など
・**補足**：補い、条件などをつけ加える
ただし など
- ⑥ **選択**：前のことと後のこととを対比したり、そのどちらかを選ぶことを示したりする
あるいは・または・それとも・もしくは など
- ⑦ **転換**：前のことから話題を変えたり、話題を限定したりする
ところで・それでは・さて・では・ときに など

◆ 指示語の用法

文章を読むときは、指示語の指し示す内容をきちんととらえることが大切です。指示語は、主に直前に述べた内容を受けて、くり返しをさせて、後につながる言葉です。指示語が指し示す内容は、「単語や語句」、「一文」、「いくつかの文」、「一つの段落」、「いくつかの段落」とさまざま場合があります。前後をていねいに読み、指示語がどういうことをさしているのかをおさえながら読み進めることが大切です。

指示語の種類

指すもの	自分に近いもの	相手に近いもの	どちらからも遠いもの	はっきりしないもの
ものごと	これ	それ	あれ	どれ
場所	ここ	そこ	あそこ	どこ
方向	こちら	そちら	あちら	どちら
ものごと	この	その	あの	どの
様子	こう	そう	ああ	どう
様子	こんな(だ)	そんな(だ)	あんな(だ)	どんな(だ)

◆ 文章の組み立てを考える

説明的文章をより正確に読み取るためには、文章全体の組み立てを考える必要があります。

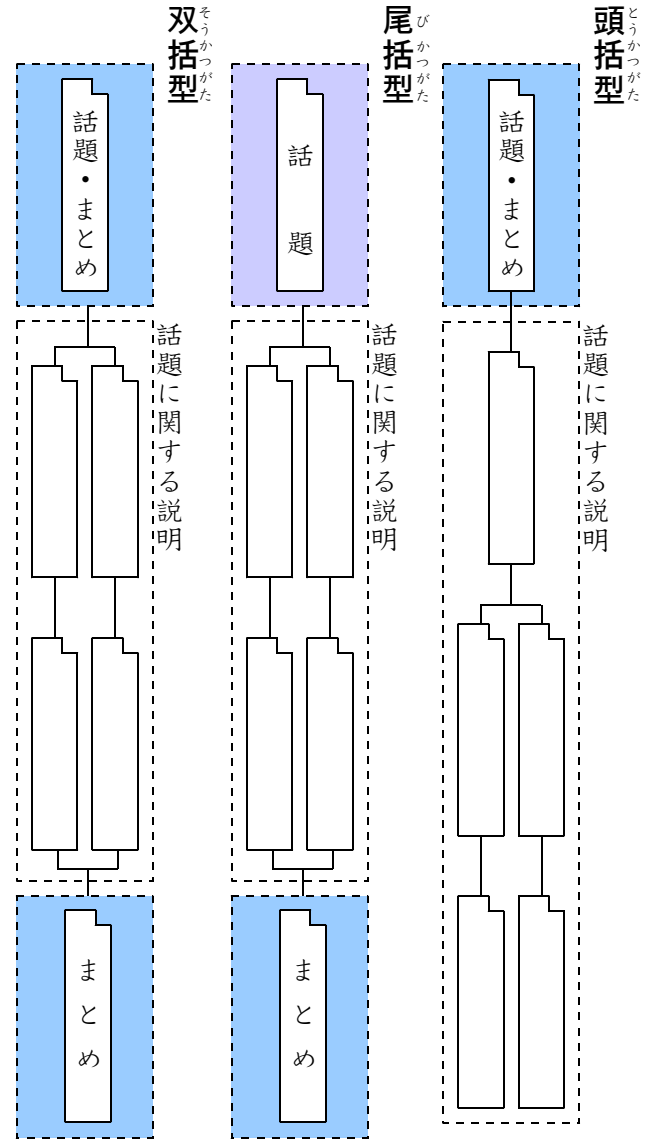
① 形式段落ごとに要点を読み取る
各形式段落の大事な内容を「**要点**」といいます。この「**要点**」を読み取るには、形式段落ごとの「**話題**」を読み取り、形式段落をまとめる役割をする「**中心文**」をみつけることが大切です。

② 文章全体を**意味段落**にまとめる
形式段落ごとの話題と要点を読み取り、くりかえし出てくる重要語句（**キーワード**）をチェックすることで、となり合う形式段落の話題や内容が共通しているかどうか、連続しているかどうか、もしくはちがう話題に移ったのかどうかなどを考え、意味段落にまとめます。

③ 文章全体における意味段落の役割を考える

- ・ 話題を提出する「**話題段落**」
- ・ 結論（まとめ）を示す「**結論段落**」
- ・ 具体例を示したり、理由・原因などを述べる「**説明段落**」

④ 説明的文書の組み立てにはいくつかの基本パターンがあります。



◆ 文章の要旨を読み取る

説明的文章において、筆者がその文章を通して最も言いたかったことを「要旨」といいます。「要旨」を読み取るには、

- ① 「結論段落」をみつける：文章の最初か最後、あるいは両方
 - ② 「結論段落」の中心文（まとめ）をみつける
 - ③ 文章を「要約」する
- 「要約」とは、説明的文章の大事なところを落とさずに短くまとめることです。文章全体の「要約」は、「要旨」をふくめて文章全体の要点をまとめたものです。

② 文章問題にチャレンジ！

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(①～⑨は形式段落の番号を示します。)

- ① 言葉と異文化の理解については、最近、なまじっか外国語を話す人がふえてきただけに、かえって気をつけなければならないことが多い。
- ② 「寒い」という言葉。どこの国でも、どこの言葉でも、寒いのは「寒い」のだが、実際にその土地で過ごしてみないとわからないところがある。
- ③ 私は日本の冬をもう十年近く経験していなかったので、今回日本に来る前に、ロンドンから日本の冬をもう十年近く電話をかけて、「今年の冬は寒いですか。」と聞いた。私が何人かの友人に聞いたとき、みんな一様に「寒い。」と答えた。ロンドンの寒さから判断して、私は厚手の毛のコートを持ってきた。そして十二月下旬、寒いと言われていた日本に着いた。しかし、^①久しぶりの日本の冬はイギリスに比

べてちつとも寒くなかった。そこで、ためしに東京に住んでいるイギリス人に、「日本の冬は寒いですか。」と聞いてみると、ほとんどのイギリス人が、「いいえ、日本の冬は暖かいです。」と答えるのだ。同じ気候の中においても、寒さの感覚は、それぞれの人が育ってきた風土、環境にそれほど影響されるものなのである。

④ それなら、ロンドンの冬は、実際に東京よりもそんなに寒いのだろうか。気温で見ると、ロンドンでは東京とそれほど変わらない。寒くはないのである。では、ロンドンの方が寒いという感覚はどこからくるのだろうか。②それは、ロンドンでは日がほとんど照らないというところからくる。ロンドンでは毎日のように雨が降ったりみぞれが降ったりして、②どんよりとしていてとても暗い。午後は三時を過ぎると、もう暗くなる。そういう中で生活していると、実際の気温以上に寒さを感じる。そのうえロンドンの寒さというのは、いわば濡れた寒さでもいおうか、非常に重い寒さなのである。日本の寒さは、東京以西の太平洋側では、乾いた、非常にシャープな寒さだと思う。同じ寒さといっても、感覚の上ではたいへん違う。

⑤ このように寒いとか暑いとかいったそんな単純なことにしてさえ、日本人とイギリス人とは考え方が違っている。異文化を理解すること、あるいは他国の人を理解することがどこまで可能なのか、それが大きな問題になってくる。寒いとか暑いとか、③冷たいとか、そういう日常よく使う形容詞の背景には、それぞれの文化がべったりとはりついているのである。④、言葉を勉強する時に、その言葉の訳語だけを学んだのでは十分とはいえない。

⑥ 例えば、③「ケチ」という言葉がある。この言葉そのものに対する感覚が日本人とイギリス人とはずいぶん違う。日本語では、「ケチな人。」とか「お前はケチだよ。」というように、とても気軽に「ケチ」という言葉が使われる。その「ケチ」という言葉の中には、道徳的に悪い意味はあまり入っていないと思う。ほめ言葉ではないかもしれないが、かといってそれほど深刻な意味はなく使われる。ところが、そのつもりでイギリス人に「ケチ」と言うと、たとえ親しい人に対してでも、たいへん失礼なことを言ったことになる。イギリス人にとって「ケチ」という言葉は、非常に深刻な意味を持っている。たんにお金に関してケチということではなくて、精神的なケチという、相手を侮辱する意味が英語には含まれているからだ。

⑦ その反対に、英語では「安い」という言葉は⑤で使われることが多い。日本人にとっては、例えば安い買い物をしたという表現は、自分のことをいう時にはいいが、他人に向かって「あなたは安いものを買いますね。」といったら、けっしてほめ言葉にならないと思う。⑤、イギリス人にとっては、「あなた、安いものを買ったわね。」というのほめ言葉になる。安いものを選ぶというのは、その人がたいへん頭を使った証拠になるのだ。けっしてケチな精神ですることではない。英語の「安い」という言葉は、道徳とは関係なく、自分は安いのがいいという、大胆かつ潔く自分のしたいことをするという合理的な考え方を示している、どちらかという④積極的でプラスの意味をもっている。

⑧ 「古い」という言葉も、そのひとつである。イギリス人はしばしば、「私の家は

古い。」と自慢じまんして言うが、日本人は「古くて汚きたなくて。」と卑下ひげして言うことが多い。これは、家に対する考え方の違いからくるのだと思う。イギリス人にとって、家というのはひとつのお城しろといっぺいいいくらいのもので、容易よういに壊こわれないようにつくってある。そのような堅固けんこな家は、古くなった時、内装ないそうは大きく替かえたとしても、外側はそのまま大事に使つかっていく。

⑨ 外国で日本人をめぐっておこる、さまざまな事件じけんやトラブルを見ると、表面的には言葉もなんとかできるし、外国の生活も知しっているように見えながら、実は本当の意味で外国人の言葉の使い方、言葉の後ろにあるモラルや伝統でんとうがわかっていなかったためにおこったトラブルも多いのではないかと思う。

(マークス寿子とこ「ゆとりの国イギリスと成金の国日本」より)

問一

1 5 にあてはまることばを次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。(同じ記号は二度使えません。)

ア だから イ しかし ウ しかも エ あるいは オ 例えば

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

ヒント

「同じ記号は二度使えません」という条件がありますから、空欄の出た順ではなく、答えやすいものから解答するとよいでしょう。

1 は後に「寒い」という言葉を例として挙げています。2 は「だから」も入りそうですが、他で使いますので、添加・累加の接続語を入れましょう。3 は選択の、4 は前文が原因、後文が当然の結果を示すので順接、5 は「日本人にとっては…ほめ言葉にならない」と「イギリス人にとっては…ほめ言葉になる」が反対の内容ですので、逆接が入ります。

問二

この文章を大きく三つの段落に分けるとすると、二つめの段落はどこからどこまでになりますか。形式段落の番号で答えなさい。

ヒント

①段落で「言葉と異文化の理解については…気をつけなければならないことが多い。」と話題を示し、②③④段落で、例として、「寒い」(②③④段落)・「ケチ」(⑥段落)・「安い」(⑦段落)・「古い」(⑧段落)を挙げ、⑨段落でまとめています。

<input type="text"/>	段落から	<input type="text"/>	段落まで
----------------------	------	----------------------	------

問三

線①「久しぶりの日本の冬はイギリスに比べてちっとも寒くなかった」とありますが、なぜ筆者にとって日本の冬は寒く感じなかったのですか。最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 筆者が寒さにそなえて厚手の毛のコートを持ってきていたから。
- イ 実際の気温で見るとロンドンの方が東京より寒かったから。
- ウ 日本の寒さが気温ほどには寒さを感じさせない「重い」寒さだから。
- エ 日本の寒さは「乾いた、非常にシャープな」寒さだから。

④段落より、イギリスの寒さは「濡れた」「非常に重い」寒さなので、実際の気温以上に寒さを感じるのに対して、日本の寒さは「乾いた、非常にシャープな」寒さだとあります。

ヒント

問四 ③段落の要点にあたる一文をさがし、はじめの五字を書きぬいて答えなさい。

ヒント

段落の中心文、つまり段落のまとめとなる文をさがします。

問五

——線②「それ」は何を指していますか。文中から十五字以内のことばを書きぬいて答えなさい。

ヒント

指示語の問題を解くときには、まず指示語の後にくる言葉に注目します。「それ」と解答を入れかえても、下の「∴」は、ロンドンでは日がほとんど照らないところからくる」につながるかどうかを確認しましょう。

問六

——線③「『ケチ』という言葉がある。この言葉そのものに対する感覚が日本人とイギリス人とはずいぶん違う」とありますが、どのような点で違うのですか。最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 日本人が相手を道徳的に非難する時にしか使わないのに対して、イギリス人は日常生活のなかで気軽に使う点。
- イ 日本人が深刻な意味を持たせず気軽に使うのに対して、イギリス人は相手を精神的に侮辱する意味で使う点。
- ウ 日本人がほめ言葉として積極的に使うのに対して、イギリス人はいい買い物をしたという深刻な意味で使う点。
- エ 日本人が親しい人にでも失礼にあたるので気軽には使わないのに対して、イギリス人は誰にでも気にせず使う点。

--

ヒント

消去法による解答。⑥段落の内容とあっているかどうか、よく確認しましょう。

問七 に入れることばとして最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア いい意味 イ 悪い意味 ウ 深刻な意味 エ 侮辱の意味

ヒント

問一の 5 でも説明した通り、イギリス人は「ほめ言葉」として使うのです。

問八 — 線④「積極的でプラスの意味」とありますが、この意味で使われているものを

次の中からあるだけ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本人にとっての「ケチな人」 イ 日本人にとっての「寒い」
ウ イギリス人にとっての「寒い」 エ イギリス人にとっての「古い家」
オ イギリス人にとっての「ケチな人」

ヒント

ア・オはそれぞれほめ言葉でしたか、それとも相手をけなす言葉でしたか。イとウの「寒い」はプラスやマイナスの意味を持っているかどうか考えましょう。

問九 — 線⑤「卑下して言う」とありますが、これはどのような意味ですか。最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 不満そうに言うこと イ 自慢して言うこと
ウ 相手をばかにして言うこと エ けんそんして言うこと

ヒント

「卑下」という言葉の意味はぜひ知っておいてほしいのですが、もし知らなくても、50行めから、イギリス人が古い家を「自慢」するのに対して、日本人がどうするかを考えれば、正解できます。「けんそんする」の意味を知らなかった人は今回でしっかり覚えましょう。

問十 次の文は、文章中からぬき出したものです。もとにもどすとすると、どの形式段落のあとになりますか。形式段落の番号で答えなさい。

ぎやくに日本の場合は、昔から木や紙でつくられてきたという伝統のためか、鉄筋コンクリート造りのアパートでも、新しいほうが尊ばれるようだ。

段落のあと

ヒント

「木や紙でつくられてきた」、「鉄筋コンクリート造りのアパート」、「新しい」という言葉から、家の話だとわかりますね。

問十一 この文章で筆者が言いたかったことはどんなことですか。次の□にあてはまることばを文中から書きぬいて答えなさい。

ア □□とイ □□を理解するためにはその国の人のウ □□□□□□□□や言葉の後ろにあるエ □□□□□□を理解する必要がある。

ヒント

問二参照。本問は要旨を答えればよいのですから、話題を示す①段落とまとめの⑨段落から書きぬく言葉をさがせばよいでしょう。

エ	ウ	ア
□	□	□
□	□	□
□	□	イ
□	□	□
□	□	□
□	□	□

③ 物語文の読み方

◆ 場面と登場人物を読み取る

① 場面を読み取る

「場面」とは、物語や小説などの話の筋（ストーリー）を
 ・いつ（時）
 ・どこで（場所）
 ・だれが（登場人物）
 ・どうした（できごと）

という四つの点からとらえたひとまとまりの部分のことです。この四つの点に注意して読み進めることで、ひとつのまとまりとしての「場面」をとらえ、場面から場面への変化（場面展開）も正確にたどることができま

② 登場人物を理解する

物語や小説の中では、さまざまな人物がいろいろなできごとをおこします。登場人物を理解するには、次のことに注意しましょう。

- ・登場人物と人間関係をつかむ
- ・だれが主人公なのか。同一人物が別の呼び方で表現されている場合もあります。
- ・登場人物の性別・年齢などや、気持ち・行動をつかむ
- ・登場人物の間の心理的な関係をつかむ

人物同士がおたがいにどんな感情をいだいているかを理解しましょう。

◆ こころの動きを追う

物語や小説の作者は、自分の考えや理想を主人公や登場人物を通して読者に伝えようとしています。それぞれの場面で登場人物がどういう言動をとるか、その背後にある心の動きや考えを観察するように読みましょう。

① 登場人物の気持ちや心の動きを読み取る

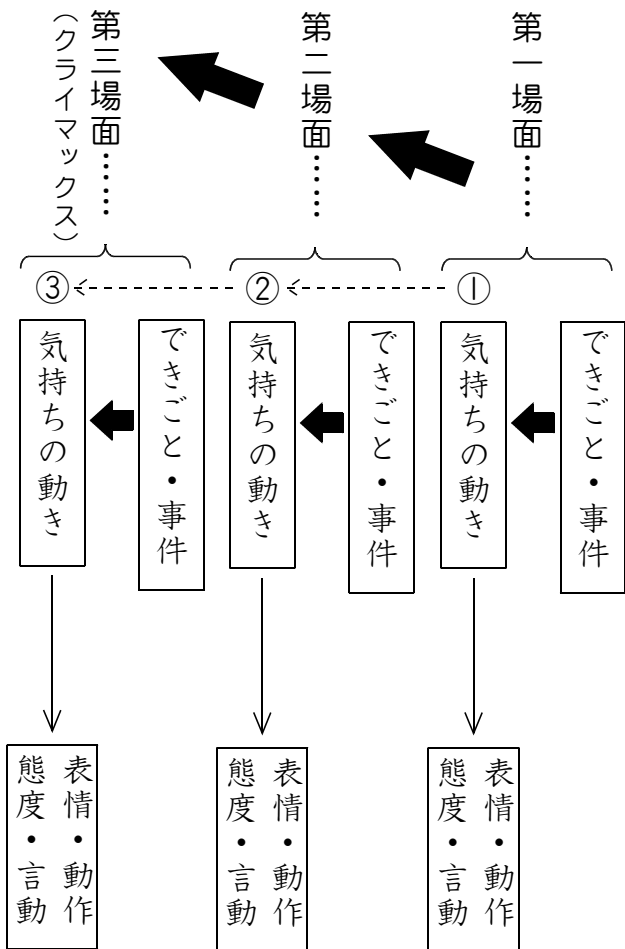
主人公の人間像や性格を読み取ったり、場面の理解を深めたりするためには、場面ごとのできごとに対する人物の心の動きや考えと、その表れである言動との結びつきを読み取ることが大切です。

・心の動きを**直接描写**している部分に注目する。
「喜ぶ」「さびしい」「…と感じる」などの表現に着目しましょう。

・心の動きを**間接描写**している部分に注目する。
人物の言葉や表情、態度、様子、行動などから気持ちや考えを読み取れます。また、周囲の情景をえがくことで人物の気持ちを描写することもあります。間接描写の部分は、場面全体の展開や因果関係、時代背景などをもとに人物の気持ちを想像し、直接描写に言い換えて読み進めるとよいでしょう。

② 登場人物の気持ちや心の動きを読み取る

場面が移り変わるとともに、登場人物の気持ちや考えが変化していきます。気持ちの変化をひきおこすきっかけとなる「できごと・事件」に注目し、それを登場人物がどう受けとめるかによって「気持ち」の変化が生じるのです。



◆ 主題をつかもう

物語において、作者がその文章を通して最も書き表したかったことを「主題」といいます。作者は登場人物を通して「主題」を表現するので、登場人物の人間像をとらえることが、「主題」を読み取るうえでとても大切です。

① 登場人物の性格や人物像をとらえる
その人物の性格を直接表している言葉だけでなく、言動や考え方、その人物に対する周りの人の態度などからも、人物像が見えてきます。

② 山場（クライマックス）をよみとる
物語のなかで、心を動かされたり共感したりして強く心に残った場面や、劇的にできごとが変化して話がりあがる場面を「山場（クライマックス）」といいます。どのようなことに心を動かされたのか、できごとに変化をもたらしたものが何なのかを考えると、主題が見えてきます。

④ 言語要素問題にチャレンジ！

◆ 主語と述語

① 文と文節

文とは、一つのまとまった意味を表し、形の上で終わりを言い切っているひとつづきの言葉のことです。ふつう終わりに句点（。）をつけます。

【例】 赤いチューリップの花が咲いた。

文節とは、文を、意味の上からも発音のうえからおかしくないように、できるだけ短く切ったひと区切りの言葉のことです。文節と文節の切れ目には、「ネ」「ヨ」「サ」などを入れて読むことができます。文節は文を組み立てる単位で、その働きによってそれぞれを「主語」「述語」「修飾語」などといいます。

【例】 赤い~~ネ~~チューリップの~~ネ~~花が~~ネ~~咲いた。

② 主語…文を組み立てている文節のうち、「何が」「だれが」を表している文節を主語といいます。

③ 述語…「どうする」「どんなだ」「なんだ」にあたる文節は、主語を説明する働きをするもので述語といいます。

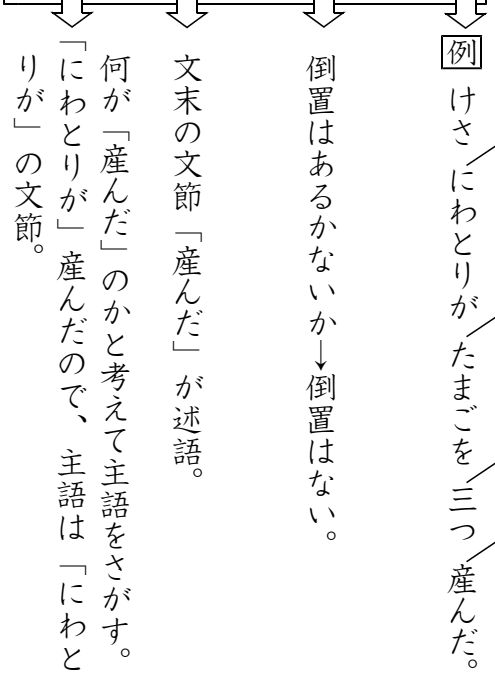
④ 主語と述語の読み取り方

1 文節に分ける。

2 倒置(言葉の並べ方が逆になっていること)があるかないか確かめる。倒置がある場合は、普通の語順に直す。

3 文末の文節⇨述語

4 3で確定した述語に、意味のうえで結びつく主語を「何が、だれが」と考えながらさがす。



チャレンジ問題①

次の文の ㉠主語と ㉡述語をそれぞれ記号で答えなさい。主語・述語のない場合は ⑥を答えなさい。

- (1) ① 白い ② 壁には ③ 朝日が ④ まぶしく ⑤ あたっていた。
- (2) ① 今日も ② 日本海側だけ ③ 厚い ④ 雲に ⑤ おおわれている。
- (3) ① 君こそ ② 僕たちの ③ クラスを ④ 代表する ⑤ 人物だ。
- (4) ① 発表会では ② ショパンの ③ 曲を ④ ピアノで ⑤ ひいた。
- (5) ① あれ、 ② 机の上 ③ 上に ④ 置いてあった ⑤ 本は？

(5) ㉠	(5) ㉡	(4) ㉠	(4) ㉡	(3) ㉠	(3) ㉡	(2) ㉠	(2) ㉡	(1) ㉠	(1) ㉡
①	①	①	①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥

解答らん

◆ 送りがな

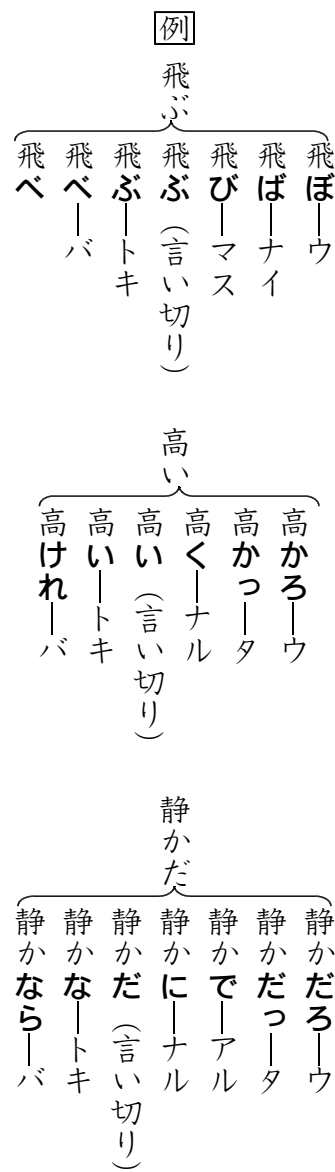
送りがなとは、ある語を漢字で書き表す場合、読みやすく、また、読みまちがいのないように、漢字のあとにつける「かな」のことです。

たとえば、「教える」では「おしえる」と読むのか、「教わる」と読むのかがわかりません。そこで、「教える」「教わる」と書いて区別しているのです。

送りがなのつけ方は、言葉の性質によって原則がきまっていますが、例外も多いので、**一つ一つの漢字についてしっかり覚えるようにしましょう。**

★ 語尾が変わる言葉(動詞・形容詞・形容動詞)の場合、ふつうは変わる(活用する)部分から送ります。ただし、読み間違えやすい言葉などは、その前から送ります。

★ 活用する部分を見わけけるには、その言葉に「ない」をつけてみます。「飛ぶ」の場合は、「とばーない」となるので、「とば」までが活用する部分です。



※活用する部分の前に「か」「やか」「らか」がつくものは、その部分から送る。

チャレンジ問題②

次の——線の言葉を漢字と送りがなで表したものを一つずつ選びなさい。

- | | | |
|----------------|-------|--------|
| (1) 懸命にはしる。 | ① 走る | ② 走しる |
| (2) かならず返事をする。 | ① 必ず | ② 必らず |
| (3) かるやかな足取り。 | ① 軽かな | ② 軽やかな |
| (4) いさましい姿だ。 | ① 勇い | ② 勇しい |
| (5) うけつけの前に並ぶ。 | ① 受付 | ② 受け付 |

解答らん

(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
①	①	①	①	①
②	②	②	②	②
③	③	③	③	
④	④			